



閻魔王庁図(部分)

夏季企画展

令和8年 (2026年) 7/22 水 ▶ 9/13 日

開館 9:00~17:00 入館は16:30まで

休館日：月曜日

会場：長浜市曳山博物館（長浜市元浜町14-8）

入館料：大人 600 円 / 小中学生 300 円

※20名以上の団体は2割引、長浜市・米原市の小・中学生は無料。
 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保険福祉手帳等をお持ちの方及びその付き添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳の提示が必要)



通念寺本六道絵

輪廻の世界 りんね

めぐるり、ららら



衆合地獄図(部分)



等活地獄図(部分)



餓鬼



畜生



地獄



六道とは
人が死んだら生まれ変わる
「6つの世界」のことです

天上
人間
餓鬼
地獄
畜生
修羅

めぐる、うろろ、輪廻の世界

夏季企画展

通念寺本六道絵

私たち人間はこの寿命が尽きた時、どこへいくのか—

死後の世界へは、亡くなった方しか行けない場所。ゆえに、生きる我々は様々な期待や想像を膨らませることができる。それは、先人も同じことであった。

平安時代に『往生要集』という著作が成立し、様々な人々に影響を及ぼした。その内容は現世での過ごし方によって、死んだ後の世界が決まっていくというもの。罪を犯せば、良いところには行けず、6つの苦しみの世界(六道)の1つへ生まれ変わる因果応報である。

苦しい世界へは絶対に行きたくないと願うが、怖いもの見たさは今も昔も変わらない。古い六道絵がたくさん残っているのは、文字が読めない民衆のために分かりやすく、絵で六道を表現したものである。昔は、その絵を使って“絵解き”というものを行っていた。どんな罪を犯せば、どの世界へ墮ちるのか、寺の住職が読み解き、現世の行いを戒めていた。

“死後のさまざまな苦しみの世界を学び、現世の行いを戒めるための道具”が六道絵なのだ。

本展示では、長浜に現存する「六道絵」を展示し、先人たちが体験したであろう六道巡りを今一度体験し、忘れていた“死後のさまざまな苦しみの世界”を体験できれば幸いである。

餓鬼：餓鬼道図(部分) 修羅：修羅道図(部分) 畜生：畜生道図(部分)
人間：人道苦相図II(部分) 地獄：阿鼻地獄図(部分) 天上：天道図(部分)
掲載作品はすべて清水白雲斎画/弘化2年(1845)/通念寺蔵



修羅



人間



天上

展示説明会《申し込み不要》
令和8年8月2日(日)・8月23日(日) 13:30~
長浜市曳山博物館1階展示室にお集まりください
案内：長浜市曳山博物館 学芸員 岩田滯奈
参加費：入館料(600円)

講演会「湖北長浜に伝来した国宝の写し
~通念寺本六道絵を読み解く~」

令和8年8月15日(土) 13:30~ **要申込**
会場：長浜市曳山博物館伝承スタジオ
講師：長浜市曳山博物館 学芸員 岩田滯奈
聴講費：資料代(500円)、別途入館料



曳山博物館 inおばけやしき~地獄編~
令和8年7月25日(土)~8月30日(日)《月曜休館》
おばけワークショップ・ナイトミュージアム
令和8年8月8日(土)・8月22日(土) **要申込**

曳山の展示

実物の曳山をご覧いただけます

【曳山2基公開】

2026年7月22日(水)~10月中旬

青海山



諫鼓山



NAGAHAMA HIKIYAMA
Museum

滋賀県長浜市元浜町14-8
TEL 0749-65-3300 FAX 0749-65-3440

入館料			
	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳 の提示で本人と 介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料

■9時~17時(入館は16時30分まで)

■休館日:月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分



LINE登録で
入館料2割引



曳山博物館HP